

## 甲府市中心市街地活性化基本計画提案事業（商業関係ソフト事業）（案）

### 1. まちづくり推進体制整備に伴う事業（新まちづくり会社の設置）

- ①目的 甲府市内の小売業・商店街の活性化を図る為、まちづくりの事業を専門に行う新しいまちづくり会社を設立し、甲府市が進める甲府市中心商店街活性化基本計画で提示された企画を実施する地域を支援するとともに、活性化に資する事業を展開・支援する。
- ②名称 (未定)
- ③参加者 甲府市、甲府商工会議所、甲府市大型店協議会、甲府商店街連盟 有志
- ④資本金 100万円～
- ⑤会社形態 株式会社、LLC（合同会社 新会社法による新しい会社組織）など
- ⑥役員  
社長 1名 甲府商工会議所の代表  
常務 1名 常勤  
取締役 名 大型店・商店街の代表、有志など  
監事 名 甲府市の代表、有志など  
タウンマネージャー 1名
- ⑦事業内容  
1) 小売業・商店街活性化の調査・研究  
2) 商店街活性化に資する不動産の購入・販売、賃貸借  
3) 基本計画策定事業への協力  
4) 甲府市中心市街地活性化協議会の運営  
5) 再開発・小規模開発への支援、協力  
6) 商店街活性化事業への支援、協力  
7) その他小売商業、商店街の活性化に対する支援、協力
- ⑧事務局 甲府商工会議所又は中心商店街の空き店舗内に置く
- ⑨社員 出向者（甲府市、甲府商工会議所、大型店、金融機関など）

### 2. 甲府中心商店街の賑わい創出のためのイベント事業

郊外のショッピングセンターの進出に伴い、中心商店街は、郊外との差別化を図るため、買物にプラスアルファの魅力が求められている。このような状況の中、甲府の中心商店街に芸術・文化の拠点「桜座」（70数年前に甲府の街からすがたを消した芝居小屋を復活したもの）を設置したことをきっかけに、芸術・文化を切り口にしたまちづくりの気運が高まりつつある。

そこで、芸術・文化を切り口にした下記のイベントを拡大・継続実施をして、中心商店街の賑わいの創出と共に、芸術・文化の香がする街づくりを推進する。

#### 1) やまなし映画祭の開催（H17～）

甲府の中心商店街では、現在映画館4館12スクリーンが営業されている。全国的に見ても地方都市でこれだけの映画館が立地しているのは非常に珍しく、甲府の中心商店街を訪れる大きな魅力のひとつとなっている。

そこで、やまなし映画祭を毎年（11月）継続・拡大開催して、賑わい創出を図るとともに、映画と商店街をリンクした街づくりを推進する。

- ①山梨・甲府にゆかり（県内がロケ地、監督が山梨出身、山梨出身の著名人が題材等）の映画の上映
- ②商店街へのなつかしい映画ポスター展示
- ③山梨・甲府を舞台にした映画制作と上映
- ④シナリオコンテスト
- ⑤24時間映画祭の開催（24時間で制作した映画のコンテスト） など

#### 2) 甲府まちなかミュージックフェスタの開催（H18～）

甲府中心商店街コリドー桜町に、桜座を設置したこがきっかけとなり、桜町通り周辺にライブハウスが集積し、ジャズを中心に音楽の風が吹き始めた。

また、以前からアマチュアバンドのストリートライブも盛んに行われていた経緯もあり、学生など若者が、甲府の中心商店街を訪れる大きな魅力のひとつとなっている。

そこで、甲府まちなかミュージックフェスタを毎年（10月）継続・拡大開催して、賑わい創出を図るとともに、音楽と商店街をリンクした街づくりを推進する。

- ①まちなかの音楽祭（アマチュアバンドコンテスト）の実施
- ②ジャズストリート（桜座を含めた4ライブハウスの共同ライブコンサート）の実施
- ③ストリートジャムセッションなど路上ライブイベントの実施
- ④参加ライブ施設の10月集中ライブ開催

### 3) 幕絵を活用したイベントの実施（H19～）

甲府市の江戸時代の商家では、小正月の道祖神祭りの際に、「幕絵」という長大な飾り幕を各店舗の軒先に飾って祭りを盛り上げたと言われている。幕絵は、町内ごとに曾我物語や京都名所などの画材を決め、京都の絵師や江戸の浮世絵師に幕絵の制作を依頼して、趣向と贅をこらして競い合ったことがわかっている。現在、歌川広重筆の「甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧」（163.0×1060.2cm）が現存し、山梨県立博物館に展示されている。

そこで、甲府町人の心意気であった「甲府道祖神祭幕」の復活をイメージさせるべく、幕絵コンテストを実施し、デザイン画入賞者に幕絵を原寸大に描いていただき、甲府中心街に掲示し、更に当時の伝統的なイベントを再現するなどして、伝統文化継承を切り口とした街づくりを推進する。

- ①幕絵コンテストで応募があった作品を毎年10作品ずつアーケードなど中心商店街に展示して、甲府中心商店街の冬の風物詩とする。
- ②幕絵に展示に併せて、市民参加で、小正月に飾る「おやま」作りを実施し、商店街に展示する。
- ③当時の祭りの雰囲気をもたせ、桜座等で「歌舞伎」など公演を実施する。

## 3. 空店舗対策事業

### 1) 専門的なノウハウもった団体等と協働して行う事業

甲府中心商店街の空店舗を活用し商工会議所が事業実施者となり、空店舗オーナーと賃貸契約を締結して、専門的なノウハウもった団体等に事業運営を委託して行う事業。家賃補助等の支援を行い、委託団体の自立運営に繋げる。ただ単に、空店舗を埋めるというだけではなく、各団体等の専門的なノウハウや資源を生かして商店街の活性化を図る。

#### ・事業実績

- ①まちなかヴァンフォーレプラザ（かすがも～る）  
㈱ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブによるグッズ販売店  
H14に設置・支援、H17～自主運営、現在も継続中
- ②CAMPUS（かすがも～る）  
山梨学院短期大学経営学科学生運営による雑貨販売店  
H16に設置・支援、H17～自主運営、H19.3月閉店
- ③銀座街の駅（銀座通り）
  - 1F（協）山梨安心サービスによる高齢者支援施設
  - 2F子育て支援団体「ハッピーキッズ」による子育て支援施設H17に設置・支援、現在も支援中
- ④桜座（コリドー桜町）  
NPO法人街づくり文化フォーラムによる芝居小屋

H17に設置・支援、H18～自主運営、現在も継続中

- ⑤四菱まちづくり総合研究室（銀座通り）  
山梨県立大学学生による中心市街地活性化の拠点  
H19に設置・支援、現在も支援中

## 2) 甲府中心商店街で商売を行いたい創業者等への個別支援事業

- ・甲府中心商店街の空店舗を活用して、商売をはじめたい創業者及び既存の経営者に対して、家賃の支援を行う事業。立ち上げの3～6か月程度を支援したのち、自主運営に繋げる。
- ・事業内容と実績

### ① チャレンジショップ事業（H7～H16）

空店舗を商工会議所借上げ（店舗オーナーとは商工会議所が契約）、その店舗を3ヶ月ごとに運営者を募集し、実際に空き店舗の経営を行う事業。その後、実際に経営して、継続可能な方に、残っていただき、店舗オーナーと契約していただき自立に繋げる。

メリット 気軽に空き店舗の経営にチャレンジ出来る。

問題点 創業者等が希望した店舗が選べない。

気軽にチャレンジ出来ることはいいが、あまり継続に繋がらない。

飲食店などの設備投資が必要な業種に対応が難しい。 など

実績 支援先延べ49者、継続13者（移転なども含めて、約27%）

### ② 家賃補助事業（H17～）

創業者等が甲府中心街（旧計画エリア）の空店舗で、営業したい方から相談を事前にいただき、希望の店舗等が決まった段階で申込、審査等を経て、家賃補助を行う。

家賃補助は、半額（最高10万円）、期間は6か月

実績 支援先14者（H17-4者、H18-8者、H19-2者（H19.7.24現在））

継続12者（約86%）

## 4. 商店街の個店の販売力向上事業（一店逸品事業）

甲府の中心商店街には、老舗店も多く、昔から市民・県民に愛されたお菓子や料理など山梨を代表する逸品が数多くある。

しかし、中心街の空洞化や後継者不足などにより、積極的な事業展開が出来ないため、優れた商品が若い世代等に認知されていない。そこで、当事業を実施し、甲府中心街の既存の逸品を広く周知するとともに、新たな逸品の創出等各個店の販売体制等を見直し、積極的な経営革新の一助とする。

- ①当事業周知のための「一店逸品運動勉強会」の開催
- ②甲府中心商店街より参加店を募集（約20店予定）
- ③専門家による臨店指導の実施
- ④参加店による委員会組織の立ち上げと開催（4回開催）
- ⑤参加店の逸品を集めたチラシ（カタログ）の作成・PR

## 5. 商店街の店舗デザイン向上事業（商業デザインコンテスト事業）

地方都市の活性化は、「文化」を軸にした対応が有効と考える。特に、欧米ではこのような考え方が進んでおり、先進事例も多い。カナダ・モントリオールでは、商店街の個店の外観や内装のデザインを年に一度競う「商業デザイン」の顕彰事業を十年前に開始した。受賞した商店は総じて売上が伸び、デザインを手がけた若手芸術家も自信を深め、デザイン産業も成長した。

さらに、商店街・街並みの景観が魅力的になり、住民の都市デザインへの意識が高まったという。こうした取り組みが功を奏して、モントリオール市は昨年、ユネスコの「デザイン都市」に指定された。このような事例を参考に甲府の中心市街地においても「商業デザインコンテスト事業」を行う。

- ①甲府中心市街地のエリアを幾つかに分け、年度ごとにエリアを限定して実施

- ②内装・外観を改装したい商店を募集
- ③参加する設計士（地元）とコラボレーションする芸術家（全国）を募集
- ④参加商店がデザイン画・施行図・予算などを提出
- ⑤選考委員会を設け、審査を行い、対象商店を決定（年間2～3件程度）
- ⑥対象商店には、事業資金を助成（1／2～2／3程度）、自己資金分については低利の融資を斡旋
- ⑦県・市の支援を受けて、商工会議所又はまちづくり会社などが実施